

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 20 年 3 月 27 日 (2008.3.27)

【公表番号】特表 2007-520494 (P2007-520494A)

【公表日】平成 19 年 7 月 26 日 (2007.7.26)

【年通号数】公開・登録公報 2007-028

【出願番号】特願 2006-551599 (P2006-551599)

【国際特許分類】

A 6 1 K 39/395 (2006.01)

A 6 1 P 7/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/04 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 21/00 (2006.01)

A 6 1 P 1/00 (2006.01)

A 6 1 P 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 39/395 D

A 6 1 K 39/395 N

A 6 1 P 7/00

A 6 1 P 7/04

A 6 1 P 43/00 1 0 5

A 6 1 P 21/00

A 6 1 P 1/00

A 6 1 P 7/02

【手続補正書】

【提出日】平成 20 年 2 月 1 日 (2008.2.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

被験体における一酸化窒素 (NO) ホメオスタシスを回復するための組成物であって、該組成物は、a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 2】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) RNA アプタマー、h) L-RNA アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 RNA、m) 低分子干渉 RNA、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 3】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 4】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c

）h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 3 に記載の組成物。

【請求項 5】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 に記載の組成物。

【請求項 6】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120×10^9 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 1 に記載の組成物。

【請求項 7】

被験体における血色素尿症を低減するための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン (E P O) および分子を含み、該分子は、a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 8】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) R N A アプタマー、h) L - R N A アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 R N A、m) 低分子干渉 R N A、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 7 に記載の組成物。

【請求項 9】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 10】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 9 に記載の組成物。

【請求項 11】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 8 に記載の組成物。

【請求項 12】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120×10^9 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、

より多い、j) 該被験体が40%より高いPNH III型顆粒球クローンを有する、またはk) 該被験体がヒトにおける正常LDHレベルの上限の1.5倍以上のLDHレベルを有する、

の1つ以上を生じる、請求項7に記載の組成物。

【請求項13】

被験体における嚥下困難を低減するための組成物であって、該組成物は、a) 1種以上の補体成分に結合する分子、b) 1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、およびc) 1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項14】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) RNAアプタマー、h) L-RNAアプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖RNA、m) 低分子干渉RNA、n) ロックされた核酸インヒビター、およびo) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項13に記載の組成物。

【請求項15】

前記分子が、抗C5抗体である、請求項14に記載の組成物。

【請求項16】

前記抗C5抗体が、a) h5G1.1-mAb、b) h5G1.1-scFv、およびc) h5G1.1の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項15に記載の組成物。

【請求項17】

前記分子が、a) CR1、b) LEX-CR1、c) MCP、d) DAF、e) CD59、f) H因子、g) コブラ毒因子、h) FUT-175、i) コンプレスタチン、およびj) K76 COOHからなる群より選択される、請求項14に記載の組成物。

【請求項18】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が10%より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が25%より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちのIII型赤血球の割合が50%より高い、d) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり40,000個より多い、e) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり75,000個より多い、f) 該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり150,000個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 80×10^9 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 120×10^9 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 150×10^9 個より多い、j) 該被験体が40%より高いPNH III型顆粒球クローンを有する、またはk) 該被験体がヒトにおける正常LDHレベルの上限の1.5倍以上のLDHレベルを有する、

の1つ以上を生じる、請求項13に記載の組成物。

【請求項19】

被験体における勃起機能不全を低減するための組成物であって、該組成物は、a) 1種以上の補体成分に結合する分子、b) 1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、およびc) 1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項20】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) RNAアプタマー、h) L-RNAアプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖RNA、m) 低分子干渉RNA、n) ロックされた核酸インヒビター、およびo) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項19に記載の

組成物。

【請求項 2 1】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 2 0 に記載の組成物。

【請求項 2 2】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 2 1 に記載の組成物。

【請求項 2 3】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 0 に記載の組成物。

【請求項 2 4】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 2 0 \times 1 0^9$ 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 5 0 \times 1 0^9$ 個より多い、j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 1 9 に記載の組成物。

【請求項 2 5】

被験体における血栓症を低減するための組成物であって、該組成物は、a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 2 6】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) R N A アプタマー、h) L - R N A アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 R N A、m) 低分子干渉 R N A、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 2 5 に記載の組成物。

【請求項 2 7】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 2 6 に記載の組成物。

【請求項 2 8】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 2 7 に記載の組成物。

【請求項 2 9】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 2 6 に記載の組成物。

【請求項 3 0】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血

血小板数が1マイクロリットルあたり40,000個より多い、e)該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり75,000個より多い、f)該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり150,000個より多い、g)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 80×10^9 個より多い、h)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 120×10^9 個より多い、i)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 150×10^9 個より多い、j)該被験体が40%より高いPNH I I I型顆粒球クローンを有する、またはk)該被験体がヒトにおける正常LDHレベルの上限の1.5倍以上のLDHレベルを有する、
 の1つ以上を生じる、請求項25に記載の組成物。

【請求項31】

被験体の総赤血球含量のうちのI I I型赤血球の割合を増加させるための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン(EPO)および分子を含み、該分子は、a)1種以上の補体成分に結合する分子、b)1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、およびc)1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項32】

前記分子が、a)抗体、b)可溶性補体抑制性化合物、c)タンパク質、d)タンパク質フラグメント、e)ペプチド、f)低分子、g)RNAアプタマー、h)L-RNAアプタマー、i)スปีゲルマー、j)アンチセンス化合物、k)セリンプロテアーゼインヒビター、l)二本鎖RNA、m)低分子干渉RNA、n)ロックされた核酸インヒビター、およびo)ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項31に記載の組成物。

【請求項33】

前記分子が、抗C5抗体である、請求項32に記載の組成物。

【請求項34】

前記抗C5抗体が、a)h5G1.1-mAb、b)h5G1.1-scFv、およびc)h5G1.1の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項33に記載の組成物。

【請求項35】

前記分子が、a)CR1、b)LEX-CR1、c)MCP、d)DAF、e)CD59、f)H因子、g)コブラ毒因子、h)FUT-175、i)コンプレスタチン、およびj)K76 COOHからなる群より選択される、請求項32に記載の組成物。

【請求項36】

以下：a)前記被験体の総赤血球含量のうちのI I I型赤血球の割合が10%より高い、b)該被験体の総赤血球含量のうちのI I I型赤血球の割合が25%より高い、c)該被験体の総赤血球含量のうちのI I I型赤血球の割合が50%より高い、d)該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり40,000個より多い、e)該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり75,000個より多い、f)該被験体の血小板数が1マイクロリットルあたり150,000個より多い、g)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 80×10^9 個より多い、h)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 120×10^9 個より多い、i)該被験体の網状赤血球数が1リットルあたり 150×10^9 個より多い、j)該被験体が40%より高いPNH I I I型顆粒球クローンを有する、またはk)該被験体がヒトにおける正常LDHレベルの上限の1.5倍以上のLDHレベルを有する、
 の1つ以上を生じる、請求項31に記載の組成物。

【請求項37】

被験体における溶血を低減するための組成物であって、該組成物は、エリスロポエチン(EPO)および分子を含み、該分子は、a)1種以上の補体成分に結合する分子、b)1種以上の補体成分の生成をブロックする分子、およびc)1種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 38】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) RNA アプタマー、h) L-RNA アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 RNA、m) 低分子干渉 RNA、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 37 に記載の組成物。

【請求項 39】

前記分子が、抗 C5 抗体である、請求項 38 に記載の組成物。

【請求項 40】

前記抗 C5 抗体が、a) h5G1.1-mAb、b) h5G1.1-scFv、および c) h5G1.1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 39 に記載の組成物。

【請求項 41】

前記分子が、a) CR1、b) LEX-CR1、c) MCP、d) DAF、e) CD59、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) FUT-175、i) コンプレスタチン、および j) K76 COOH からなる群より選択される、請求項 38 に記載の組成物。

【請求項 42】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの III 型赤血球の割合が 10% より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの III 型赤血球の割合が 25% より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの III 型赤血球の割合が 50% より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 40,000 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 75,000 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 150,000 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 80×10^9 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 120×10^9 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり 150×10^9 個より多い、j) 該被験体が 40% より高い PNH III 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 LDH レベルの上限の 1.5 倍以上の LDH レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 37 に記載の組成物。

【請求項 43】

以下：a) 前記被験体の血流中の乳酸デヒドロゲナーゼ (LDH) レベルにおける 50% を超える低下からも明らかなように、溶血が低減される、b) 該被験体の血流中の乳酸デヒドロゲナーゼ (LDH) レベルにおける正常値の上限の 20% 以内の低下からも明らかなように、溶血が低減される、c) 血清補体溶血活性が、血清溶血アッセイからも明らかなように、少なくとも 80% 低下される、請求項 37 に記載の組成物。

請求項 37 に記載の組成物。

【請求項 44】

被験体における一酸化窒素 (NO) 欠乏症を処置するための組成物であって、該組成物は、a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、からなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 45】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) RNA アプタマー、h) L-RNA アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 RNA、m) 低分子干渉 RNA、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 44 に記載の組成物。

【請求項 46】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 4 5 に記載の組成物。

【請求項 4 7】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 4 6 に記載の組成物。

【請求項 4 8】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H からなる群より選択される、請求項 4 5 に記載の組成物。

【請求項 4 9】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 2 0 \times 1 0^9$ 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 5 0 \times 1 0^9$ 個より多い、j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 4 4 に記載の組成物。

【請求項 5 0】

溶血性疾患を患う被験体を処置するための組成物であって、該組成物は、以下：

i) a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子からなる群より選択される 1 つ以上の分子、ならびに

i i) 造血を増大させる 1 つ以上の化合物を含む、組成物。

【請求項 5 1】

前記造血を増大させる 1 種以上の化合物が、a) ステロイド、b) 免疫抑制薬、c) 抗凝固薬、d) 葉酸、e) 鉄、f) エリスロポエチン (E P O)、g) 抗胸腺細胞グロブリン (A T G)、および h) 抗リンパ球グロブリン (A L G) からなる群より選択される、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 2】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) R N A アプタマー、h) L - R N A アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 R N A、m) 低分子干渉 R N A、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターからなる群より選択される、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 3】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 5 2 に記載の組成物。

【請求項 5 4】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントからなる群より選択される、請求項 5 3 に記載の組成物。

【請求項 5 5】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および

j) K 7 6 C O O H かなる群より選択される、請求項 5 2 に記載の組成物。

【請求項 5 6】

前記造血を増大させる 1 つ以上の化合物が、E P O である、請求項 5 1 に記載の組成物。

【請求項 5 7】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 2 0 \times 1 0^9$ 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 5 0 \times 1 0^9$ 個より多い、j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 5 0 に記載の組成物。

【請求項 5 8】

被験体における腹痛を低減するための組成物であって、該組成物は、a) 1 種以上の補体成分に結合する分子、b) 1 種以上の補体成分の生成をブロックする分子、および c) 1 種以上の補体成分の活性をブロックする分子、かなる群より選択される分子を含む、組成物。

【請求項 5 9】

前記分子が、a) 抗体、b) 可溶性補体抑制性化合物、c) タンパク質、d) タンパク質フラグメント、e) ペプチド、f) 低分子、g) R N A アプタマー、h) L - R N A アプタマー、i) スピーゲルマー、j) アンチセンス化合物、k) セリンプロテアーゼインヒビター、l) 二本鎖 R N A、m) 低分子干渉 R N A、n) ロックされた核酸インヒビター、および o) ペプチド核酸インヒビターかなる群より選択される、請求項 5 8 に記載の組成物。

【請求項 6 0】

前記分子が、抗 C 5 抗体である、請求項 5 9 に記載の組成物。

【請求項 6 1】

前記抗 C 5 抗体が、a) h 5 G 1 . 1 - m A b、b) h 5 G 1 . 1 - s c F v、および c) h 5 G 1 . 1 の機能的フラグメントかなる群より選択される、請求項 6 0 に記載の組成物。

【請求項 6 2】

前記分子が、a) C R 1、b) L E X - C R 1、c) M C P、d) D A F、e) C D 5 9、f) H 因子、g) コブラ毒因子、h) F U T - 1 7 5、i) コンプレスタチン、および j) K 7 6 C O O H かなる群より選択される、請求項 5 9 に記載の組成物。

【請求項 6 3】

以下：a) 前記被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 1 0 % より高い、b) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 2 5 % より高い、c) 該被験体の総赤血球含量のうちの I I I 型赤血球の割合が 5 0 % より高い、d) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 4 0 , 0 0 0 個より多い、e) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 7 5 , 0 0 0 個より多い、f) 該被験体の血小板数が 1 マイクロリットルあたり 1 5 0 , 0 0 0 個より多い、g) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $8 0 \times 1 0^9$ 個より多い、h) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 2 0 \times 1 0^9$ 個より多い、i) 該被験体の網状赤血球数が 1 リットルあたり $1 5 0 \times 1 0^9$ 個より多い、j) 該被験体が 4 0 % より高い P N H I I I 型顆粒球クローンを有する、または k) 該被験体がヒトにおける正常 L D H レベルの上限の 1 . 5 倍以上の L D H レベルを有する、

の 1 つ以上を生じる、請求項 5 8 に記載の組成物。